

☆春季総体&煌奏祭を終えて (各部代表のコメント④)

「美術部は 6/17 まで平成大野屋(二階蔵の1階)で作品を展示しています。6/11 から展示の内容が入れ替わるので、ぜひ、見に来てください。」(安倍凜伽 美術部部长)

「秋の大会で負けた高志高校に、今回も負けてしまったことはとても悔しいが、前よりも皆の応援の声が大きくなり、試合に出られてなかった部員も全力で応援しており、皆と心が一つになれた気がしてとても嬉しかった。また、目標としていた楽しく試合をするということが達成できてよかった。」(平辻雅規 卓球部・男子主将)

「悔しい思いは、全力を出してやってきた証拠です。チームで一つの目標に向かうことの大切さをしっかりかみしめて、これからもがんばろう!!」(卓球部顧問)

「よい結果が出た人も、そうでなかった人も、自分の全力を出し切れた。2年間の部活動の総括ができた。応援ありがとうございました。」(銅子颯太 男子バドミントン部主将)

春季総体、煌奏祭に参加した全ての部・サークル部長、代表者がそれぞれの想いをコメントしてくれました。一生懸命に取り組んだ者からしか出てこない、煌めいた「コメント」ばかりで、大高生の「心の清らかさ」を改めて感じることができました。ありがとう。そして御苦労様でした。

応援に行けなかったサッカー部と弓道部の皆さんには大変申し訳ないですが、今年は、多くの会場に足を運び頑張る大高生を応援することができました。

「ラスト6投目、部員総出の大声援に応え 50 mスローを放ち優勝を決めた陸上の神谷主将」「足が何回つっても、たった1人の3年生としてコートに立ち続けた男バスの宇野主将」「北信越出場をかけた石倉姉妹の直接対決(姉が意地の勝利)」「4強の壁を1つ砕いて3強となった男バレー」「休部となる大高テニス部の最後の戦い」「試合での笑顔と粘りを取り戻した女バレー」 etc etc

3年生は、「輝き」大切なものを後輩たちに「残し」てくれました。2年生諸君、是非とも先輩たちの想いを受け止め、いい伝統を「続け」、そして来年には先輩を「超えて」ください。今回いろいろなることを「見て」「学んだ」1年生諸君、今後の君たちのますますの成長が楽しみです。

担任の先生方は、必要部分を読み聞かせ、しばらく教室掲示して下さい。